

2月2日(金)

令和6年度 A日程入学試験問題

選 択 科 目

— 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

日本史	1 ~ 14 ページ	世界史	15 ~ 30 ページ
政治・経済	31 ~ 50 ページ	数学①	52 ~ 57 ページ
数学②	58 ~ 66 ページ		

- 2 試験開始後、問題を見てから解答する科目を選択することができる。

選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。

※数学を選択する場合は、文学部、神道文化学部、法学部、人間開発学部は「数学①」を、経済学部、観光まちづくり学部は「数学②」を解答すること。

- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。

解答用紙は全科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。

なお、数学の解答のみ解答用紙裏面の「B面」に解答すること。

- 4 裏表紙に数学の解答上の注意が記載してあるので、この問題冊子を裏返して読んでおくこと。

- 5 試験時間は60分である。

日本史

1 この問題は、解答欄 1 ～ 10 に解答すること。

次の文章 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

A 701年に や藤原不比等などによって完成された大宝律令により、民衆には租・調・庸・雑徭などの負担が課せられた。(2) 租は口分田などの収穫から約3%の稲を納めるもので、調は諸国の絹・糸・布などの産物を、庸は(3)歳役の代わりに布2丈6尺を国家に納めるものだった。 そのほかにも、稲を強制的に貸し付けて収穫時に利息とともに回収する や正丁3～4人に1人の割合で徴発される兵役などがあった。(5) これらは民衆には大きな負担となり、一部にそれを免れようとするものもあらわれた。

問1 空欄 にあてはまる人名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 恒貞親王 イ 早良親王 ウ 刑部親王 エ 舎人親王 オ 高市皇子

問2 下線部(2)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 口分田は8歳になると男には2段、女にはその2/3(1段180歩)があたえられた。
- イ 口分田は6年ごとに支給され、死者の分は同時に収公された。
- ウ 租は役人に支給され、その多くが運脚によって都に運ばれていった。
- エ 租を納める田を輸租田というが、位田・墾田などは納付の義務がなかった。

問3 下線部(3)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 都の造営や造寺のため、正丁では1年に10日間、労役に従事すること。
- イ 道路や池堤の修築のため、国司が正丁では1年60日を限度に使役すること。
- ウ 課役が免除されるため、五位以上の貴族などに仕えて労働すること。
- エ 50戸に正丁2人の割合で課せられ、中央政府の雑用に使役されること。

問4 空欄 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ
選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 義倉 イ 正税 ウ 賃租 エ 出挙 オ 屯倉

問5 下線部 (5) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解
答欄 にマークしなさい。

- ア 戸籍に登録された地をはなれ、所在が不明となることを浮浪といった。
- イ 戸籍に登録された地をはなれ、他所で調・庸を負担することを逃亡といった。
- ウ 東大寺の許可なく勝手に得度して私度僧となり、課役負担を免れようとした。
- エ 課役や労役は男子が負担したので、性別や年齢をいつわる偽籍が行われた。

B 人口増加にともなう口分田の不足を解消するため、政府は723年に (6) 三世一身法 を施行し、
743年には墾田永年私財法を発して、租税の増収に努めた。9世紀前半になると (7) 律令体制の弛
緩が明確になり、班田収授の実施が困難になっていった。10世紀以降の公領では、有力農民に耕作
を請け負わせ、彼らに租・調・庸などの系譜を引く や、雑徭などに由来する臨時雑役
を負担させた。11世紀になると、山林原野を開墾した開発領主が国衙からの圧力を免れるため、所
領を中央の権力者に寄進して、みずからは などになるものもあらわれた。このような
荘園を (10) 寄進地系荘園 という。

問6 下線部 (6) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解
答欄 にマークしなさい。

- ア 新たな灌漑施設を設けた開墾は三代、旧い施設を利用すれば一代の田地保有を認めた。
- イ この法令にもとづいて、翌年に百万町歩開墾計画が立てられた。
- ウ この法令が発布されたときの政権首班は、右大臣の藤原武智麻呂であった。
- エ 大寺院による開墾のみが盛行したことから、この法令は約20年で役割を終えた。

問7 下線部(7)に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 桓武天皇は公民を維持するため、農民の負担を軽減して雑徭の期間を半減させた。
- イ 桓武天皇は班田の期間を6年から12年に延長し、確実な班田の実施をはかった。
- ウ 嵯峨天皇のときに畿内に公営田を設け、国家の直営方式による財源確保に努めた。
- エ 班田を命じる史料がみられるのは、902年の醍醐天皇のときが最後である。

問8 空欄 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 年貢 イ 田堵 ウ 食封 エ 官物 オ 公事

問9 空欄 にあてはまる用語として誤っているものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 荘官 イ 下司 ウ 預所 エ 公文 オ 下人

問10 下線部(10)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 開発領主から寄進された者を領家、領家からさらに寄進された者を本家という。
- イ 不輸の権を得た荘園のうち、太政官や大蔵省から公認されたものを官省符荘という。
- ウ 国衙からの勘解由使や収納使などの立ち入りを拒否する権利を不入の権という。
- エ これらのうち、のちに大覚寺統の経済基盤となった荘園群を長講堂領という。

2 この問題は、解答欄 **21** ～ **30** に解答すること。(25点)

A 次の絵画資料①～④に関する後の問いに答えなさい。

絵画資料①



絵画資料②



絵画資料③



絵画資料④



問1 絵画資料①に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- ア この画面には、東大寺にあった正倉が描かれている。
- イ この画面には、賀茂川に設けられた関所が描かれている。
- ウ この画面には、命蓮という僧が飛ばした鉢が描かれている。
- エ この画面には、伴善男が失脚した応天門の変が描かれている。

問2 絵画資料②に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **22** にマークしなさい。

- ア この画面には、若き雪舟が訪れた揚子江の風景が描かれている。
- イ この画面には、明画を学んだ如拙が訪れた揚子江の風景が描かれている。
- ウ この画面には、元画を学んだ如拙が訪れた丹後国の風景が描かれている。
- エ この画面には、晩年の雪舟が訪れた丹後国の風景が描かれている。

問3 絵画資料③に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **23** にマークしなさい。

- ア この画面には、法然と彼に帰依した民衆の姿が描かれている。
- イ この画面には、「踊念仏」を行う一遍と弟子たちの姿が描かれている。
- ウ この画面には、琵琶法師の平曲を聞きに集まった民衆の姿が描かれている。
- エ この画面には、牛車に乗って逃げまどう貴族たちの姿が描かれている。

問4 絵画資料④に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- ア この画面には、興福寺を本所とした観世能の一座が描かれている。
- イ この画面には、祭礼などの際に行われた風流踊りが描かれている。
- ウ この画面には、公家の間でも流行した永長の大田楽が描かれている。
- エ この画面には、出雲阿国が始めたかぶき踊りが描かれている。

問5 絵画資料①～④を成立年代の古い順に並べた組み合わせとして、最もふさわしいものを、次の ア～エ から1つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- ア ①—③—②—④ イ ③—①—②—④
- ウ ①—③—④—② エ ③—①—④—②

B 次の史料を読んで、後の問いに答えなさい。

〔史料〕

内藤兵衛尉朝親京都より下着す。[26] を持参す。これ通具・有家・(27)定家・家隆・雅経等の朝臣、勅定をうけたまはり、和歌所において去る三月十六日これを撰進す。同四月奏覧、いまだ竟^{きょうえん}宴を行はれず。また披露の儀無し。しかるに將軍家和語を好ましめ給ふの上、故右大將軍の御詠撰入せらるるの由聞こしめすにつき、しきりに御覧の志有りといへども、わざと尋ね申さるるに及ばず。しかるに朝親たまたま定家朝臣に属し当道を^{たしな}嗜む。すなはち(28)この集の作者^{読みかた}に列するの間、計略を廻らし書き進むべきの由仰せ含めらるるのところ、朝雅・重忠等の事により、都鄙^{とひ}静かならざるの故、今に遅引すと云々。

(『 [a] 』、原漢文)

問6 空欄 [26] にあてはまる作品名として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 [26] にマークしなさい。

- ア 古今和歌集 イ 新古今和歌集 ウ 和漢朗詠集
エ 拾遺和歌集 オ 新葉和歌集

問7 下線部 (27) の人物の歌集として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 [27] にマークしなさい。

- ア 『山家集』 イ 『拾遺愚草』 ウ 『花鳥余情』
エ 『明月記』 オ 『金槐和歌集』

問8 下線部 (28) にあてはまらない人物を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 [28] にマークしなさい。

- ア 西行 イ 慈円 ウ 兼好法師
エ 式子内親王 オ 寂蓮法師

問9 空欄 に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 大義名分論に基づいて天皇の正統性を主張した歴史書。
- イ 源平争乱以降の歴史を公家の立場から著した歴史書。
- ウ 摂関家出身の高僧が著した歴史書。
- エ 鎌倉幕府の歴史を編年体で記した歴史書。

問10 Bの〔史料〕に記されている内容として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 和歌を好んだ将軍は、父の和歌が勅撰集に入集したと聞いて、その歌集をみたいと思っていたが、なかなか手に入れることができなかった。
- イ 和歌を好んだ将軍は、藤原定家の弟子となり、「読み人知らず」ながらも、この勅撰集の作者に列した。
- ウ 和歌を好んだ将軍は、勅撰集をみたいと思っていたが実現できず、幕府と朝廷との争いがおさまって、ようやく手に入れることができた。
- エ 和歌を好んだ将軍は、自身の和歌が勅撰集に入集したと聞いて、藤原定家のもとに使者を遣わしてその歌集を取り寄せた。

3 この問題は、解答欄 41 ～ 50 に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

江戸幕府は開幕から大政奉還に至るまで何度も政治改革を試みている。たとえば5代将軍徳川綱吉の死後、6代将軍になった 41 は生類憐れみの令を一部廃止し、(42)柳沢吉保を退け、(43)新井白石と間部詮房を信任して、政治の刷新を図った。44 の藩主から8代将軍になった吉宗は従来の側近政治を改め、(45)有能な人材を多く登用し、みずからリーダーシップをとって(46)政治改革に乗り出している。11代将軍 47 の補佐として老中になった(48)松平定信は、(49)あらたな政治改革に着手するも規制が厳しく不平が多方面から出た。その後12代将軍家慶のもとでは、老中であつた(50)水野忠邦が幕政改革に取り組んだのである。

問1 空欄 41 にあてはまる人名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

ア 秀忠 イ 家光 ウ 家綱 エ 家宣 オ 家継

問2 下線部(42)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- ア 殉死の禁止を命じた。
- イ 六義園を作庭した。
- ウ 側用人から江戸町奉行になった。
- エ 浅野長矩に傷つけられた。

問3 下線部(43)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 43 にマークしなさい。

- ア 宮家が少なく、多くの皇子・皇女が出家していたため、あらたに有栖川宮家を創設した。
- イ 朝鮮通信使に国書中の将軍称号を「日本国大君殿下」から「日本国王」へ改めさせた。
- ウ 元禄小判の金の含有率を下げて、慶長小判と同率の正徳小判を鑄造させた。
- エ 多くの金銀を流出させて貿易を盛んにしようと、海舶互市新例を廃止させた。

問4 空欄 44 にあてはまる藩名として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 44 にマークしなさい。

ア 会津 イ 尾張 ウ 紀伊 エ 甲府 オ 館林

問5 下線部(45)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 田沼意次を側用人から老中に登用した。
- イ 伊藤仁斎は將軍の諮問に答えた『政談』を著した。
- ウ 青木昆陽にオランダ語を学ばせ、蘭学興隆の基礎を築いた。
- エ 山田奉行の大岡忠相を勘定奉行に抜擢した。

問6 下線部(46)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 目安箱を評定所に置き、庶民の直訴を受け付けた。
- イ 町方独自の町火消を取り締まり、幕府主導の消防組織を作った。
- ウ 金公事はすべて幕府に訴えさせ、従来の相對濟し令を禁じた。
- エ 貧民を対象とする医療施設として江戸川に養生所を作った。

問7 空欄 にあてはまる人名として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 家茂 イ 家定 ウ 家斉 エ 家重 オ 家治

問8 下線部(48)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 定信は8代將軍の孫であり田安宗武の嫡子である。
- イ 幕政改革に着手する前に白河藩の治政で実績を残していた。
- ウ 老中就任から亡くなる年までの自叙伝『宇下人言』を著した。
- エ 白河楽翁と号したが、隱居せず常に幕政の先頭にたった。

問9 下線部(49)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 各地に社倉や義倉を作らせて、米穀を貯蓄する困米を命じた。
- イ 寛政異学の禁を出して、古学の官学化と教学統制を図った。
- ウ 七分積金の管理運営は、石川島の人足寄場が中心に行った。
- エ 江戸の巨大化した經濟を抑制するため、旧里帰農令を廢止した。

問10 下線部 (50) を含む幕政改革を古いものから時代順に並べたものとして最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄

50

 にマークしなさい。

ア 正徳の治→寛政の改革→天保の改革→享保の改革

イ 享保の改革→正徳の治→寛政の改革→天保の改革

ウ 天保の改革→享保の改革→寛政の改革→正徳の治

エ 正徳の治→享保の改革→寛政の改革→天保の改革

4 この問題は、解答欄 **61** ～ **70** に解答すること。

次の文章 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

A 明治政府、とりわけ外交当局者にとって最大の課題といえたのは、幕末に結ばれた不平等条約の改正、特に領事裁判権（治外法権）の撤廃と関税自主権の回復であった。(61) 岩倉具視、寺島宗則による改正交渉が失敗したのち、井上馨が改正交渉を担い、その改正案が欧米諸国によって一応了承された。しかし、(62) この改正交渉に反対する政府内外の声が強くなり、交渉は失敗した。続いて (63) 大隈重信 が改正交渉にあたったが、強い反対論がおこり、改正交渉は挫折した。

その後、イギリスがロシアへの警戒から態度を軟化させたことにより、青木周蔵は改正交渉を開始したが (64) 大津事件 で辞任した。領事裁判権の撤廃に成功したのは **65** であり、1911年には関税自主権を回復した。

問1 下線部 (61) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **61** にマークしなさい。

- ア 公家の出身であり、幕末の八月十八日の政変で、長州に逃れた。
- イ 公武合体を策したが、のちに討幕論に転じ、王政復古に尽力した。
- ウ 公家の出身であり、明治政府では太政大臣となり、遣外使節の大使を務めた。
- エ 遣外使節からの帰国後は征韓論を支持し、大久保利通と対立した。

問2 下線部 (62) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **62** にマークしなさい。

- ア 外国人に日本国内での居住・旅行・営業の自由を与える内地雑居を認めた。
- イ 自国の関税を自主的に決める関税自主権を全面的に回復することが了承された。
- ウ 同時期に起きたノルマントン号事件は世論の支持を集め、交渉促進に役立った。
- エ 外国人を被告とする裁判には一人の外国人判事を採用することを認めた。

問3 下線部 (63) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **63** にマークしなさい。

- ア 土佐出身で、明治14年政変で下野し、立憲改進黨の総理となった。
- イ イギリス流の議院内閣制の早期導入を、伊藤博文とともに主張した。
- ウ 東京専門学校を設立し、新島襄らと教育にあたった。
- エ 条約改正に当り国別交渉を進め、大審院への外国人判事の任用を認めていた。

問4 下線部(64)に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 訪日中のロシア皇太子が、大津で巡査津田三蔵に切りつけられ負傷した。
- イ 事件の報を聞いた政府は、大逆罪を適用して死刑にするよう裁判所に圧力をかけた。
- ウ 大審院長児島惟謙は政府の圧力には反対したが、最終的に津田を死刑にした。
- エ ロシア皇太子はシベリア鉄道起工式に出席の途次、訪日した。

問5 空欄 にあてはまる人物を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 小村寿太郎 イ 松方正義 ウ 伊藤博文 エ 陸奥宗光 オ 井上毅

B 1920年代は (66) 協調外交 の時代であったが、(67) 田中義一 内閣は中国政策をめぐって強硬姿勢に転じた。中国では、全国統一を目指して北上する国民革命軍は各地方を制圧し (68) 北伐 を続けた。これに対し、田中内閣は満州軍閥の を支援し、国民革命軍に対抗するために3次にわたる山東出兵を実施した。

関東軍は国民革命軍が勢いを増す中で、満州を直接支配する動きに転じ、 を奉天郊外で殺害した。当時、この事件の真相は国民に知らされず、満州某重大事件と呼ばれた。

の (70) 後継者 は1928年、勢力下にあった満州を国民政府支配下の土地と認めた。

問6 下線部(66)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 1921年のワシントン会議には、西園寺公望・幣原喜重郎らが全権として参加した。
- イ 太平洋の平和に関する四カ国条約で、石井・ランシング協定は破棄された。
- ウ 九カ国条約では、中国の主権尊重、門戸開放、機会均等を約束した。
- エ ワシントン海軍軍縮条約では補助艦の保有比率と今後10年間の新艦の建造禁止を定めた。

問7 下線部(67)に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 立憲政友会は田中義一を総裁に迎え、憲政会を吸収し、護憲三派の提携は解消された。
- イ 治安維持法を改正し、警視庁に特別高等課(特高)を設置した。
- ウ 三・一五事件、四・一六事件で日本共産党員の一斉検挙を行って、弾圧をした。
- エ 第二次山東出兵の際、日本軍と国民革命軍とが武力衝突する上海事変が起きた。

問8 下線部 (68) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 北方軍閥を打倒して中国全土を統一するため、孫文が北伐に乗り出した。
- イ 蒋介石は南京に国民政府を樹立し、第一次国共合作を成立させた。
- ウ 東方会議で「対支政策綱領」を決定し、「満蒙は中国領土にあらず」と結論した。
- エ 国民党は袁世凱が結成した中国同盟会がもとになって結成された。

問9 空欄 にあてはまる人物として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 李鴻章 イ 周恩来 ウ 張学良 エ 毛沢東 オ 張作霖

問10 下線部 (70) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 後継者は1936年の西安事件で、汪兆銘を監禁した。
- イ 後継者は勢力下にあった内蒙古を国民政府支配下の土地と認めた。
- ウ 後継者は内戦停止と抗日を要求し、冀東防共自治政府を樹立した。
- エ 後継者は国民政府への帰属を表明するため、青天白日旗を満州全土で掲げた。